

平成 28 年度

高校生の集い

まなびば

屋内プログラム ガイドブック

《目次》

CHAPTER-1	プログラムの進め方	…	1
CHAPTER-2	グループタイムの進め方	…	4
	テーマ		
	『おやさま ～いつも心に喜びを！～』		
	1. 「お言葉カルタ」	…	4
	2. 「GO! GO! 地球防衛軍!」	…	11
	3. 「あしあと」	…	16
	4. 「コトノハ」	…	21

天理教学生担当委員会

■テーマ

『おやさま ～いつも心に喜びを！～』

■プログラム（例）

時 間	内 容
13：00	集合・受付
13：30	ウォーミングアップ
14：30	開講式
15：00	グループタイム①「お言葉カルタ」
16：30	おてふり練習
17：00	夕食・夕つとめ・入浴
19：00	グループタイム②「GO! GO! 地球防衛軍!」
21：00	夜のあいさつ
6：30	朝つとめ
7：00	朝食
7：30	ひのきしん
8：30	グループタイム③「あしあと」
	おはなし テーマ 『おやさま ～いつも心に喜びを！～』
	ふりかえり
11：30	昼食
12：30	グループタイム④「コトノハ」
13：40	感想文記入・清掃
14：15	閉講式
	スタッフ反省会

■プログラムの流れについて

【1日目】

受付の後、まずはウォーミングアップを行うことで参加者の呼吸を整え、緊張を和らげます。そして、リラックスした雰囲気の中で開講式を行います。

グループタイム①「お言葉カルタ」では、ゲーム感覚で気軽に楽しく自己紹介を進めていきます。また、カルタの題材は、『稿本天理教教祖伝』『稿本天理教教祖伝逸話篇』から抜粋しているので、教祖のお言葉に触れることにもなります。

夕つとめ前に「おてふり練習」を行います。参加者の中には「座りつとめ」をきちんと覚えていない高校生もいるでしょう。そのような参加者に「座りつとめ」の手直しを行い、続く夕つとめに向かう流れです。担当の先生のもと全員で練習したり、習熟度に合わせて数グループに分かれて練習したりするのもよいでしょう。その際、おつとめの意味合いについても説明しておきましょう。

夕つとめ、夕食、入浴の時間も、トレーナーはメンバーと共に行動するようにします。グループタイム中に気に掛かったことがある場合は、このような時間を積極的に活用して一对一の会話を持つようにします。また、この時間帯は裏方をつとめるスタッフも参加者に対して積極的に話しかけるように心掛けてください。スタッフ全体で参加者を歓迎するという雰囲気が伝わり、行事全体の温かさが参加者に伝わるでしょう。

グループタイム②「GO! GO! 地球防衛軍!」では、協力して多くの謎を解くことにより、一人ひとりの個性が表現できるきっかけをつくります。そして、グループで課題に取り組むことで、凝集性を高め、協調性が育まれます。

1日の終わりに「夜のあいさつ」を行います。その中で、裏方をつとめるスタッフより、参加者の心に響くような「ちょっといい話」をしていただき、1日目の締めくくりとします。

【2日目】

朝つとめ、朝食に続いて、会場施設や周辺の清掃ひのきしんなどをさせていただきます。

グループタイム③「あしあと」では、自分の嬉しかったことや悲しかったことをカードに記入し、発表することで、多様な価値観が存在することを知ります。続いて担当の先生から教祖のお話を聞くことで、どんな中でも喜んで通られた教祖の御心に触れます。その後、グループタイム③全体を振り返る時間を持ち、教祖のひながたへの理解を深め、自分の中で喜ばなかったことも喜べるということに気付きます。

グループタイム④「コトノハ」では、まなびばで学んだことを再認識し、再びお言葉カルタの中から心に残った教祖のお言葉を選びます。その後、寄せ書きを行うことで人に対する思いやりの気持ちを養います。そのお言葉と寄せ書きが目に見えるお土産となり、後の気づきや学びのきっかけになります。

最後に閉講式を行い、今後へつながるように誘います。

■グループ構成について

6名前後の高校生に、2人のトレーナーが加わって一つのグループとし、そのグループが二つ以上あることを想定しています。

■全体司会について

全体司会者1名を決め、全体進行を担当します。ウォーミングアップ・開講式や閉講式・夜のあいさつ・「おはなし」の司会を併せてつとめてもいいでしょう。

トレーナーとは別に、全体司会をおくことにより、トレーナーの負担を軽減します。

■トレーナー2人制について

それぞれの役割は、グループタイムの進行などで主務的な役割を担うメイントレーナーとそれを補佐するサブトレーナーとし、事前に役割分担を決めておきます。

◇2人制による主な利点

①気づかない部分を補い合いながら進めていくことができる。

- ・グループタイム終了後や休憩時間でグループの状況、メンバーの様子などについて、互いの意見や情報を交換できる。

②トレーナーの育成につながる。

- ・事前研修やHARP研修会を受講しても、多くの教区では実際にトレーナーを経験する場の少ないことが現状としてあげられる。経験の少ないスタッフが経験豊富なトレーナーのもとで、実践の場を持つことが人材の育成にもつながる。

◇男女ペアによる利点

- ・「まなびば」には当然のことながら男女の参加者がいる。グループタイム中はもちろん、生活時間においても、男女それぞれの視点からメンバーを観察し、関与することができる。
- ・女子トレーナーがいると特に女子参加者の体調面などについての世話取りがなされやすい。
- ・教区学生担当委員会での女子スタッフの育成に役立つ。

■その他の注意事項

※より充実したプログラムにするために、期間中はトレーナーも参加者も携帯電話やスマートフォンなどの使用はなるべく控える。

1. 「お言葉カルタ」(グループタイム①)

◎ねらい

- ・教祖のお言葉にふれる。
- ・ゲーム感覚で楽しく気軽に、お互いのことを紹介し合い、深く知り合うきっかけをつくる。

◎準備物

- ・自己紹介シート (人数分) ガイドブック P.7
- ・お言葉カルタ (各グループ1セット)
 - ┌ トレーナーが読む「読み札」(表にお言葉、裏に解説が書いてある)38枚
 - └ メンバーが取る「取り札」(表にお言葉、裏に質問が書いてある)38枚
- ※「お言葉カルタ」は学生担当委員会事務局にて貸し出しております。
- ・筆記用具 (各自)

◎会場

- ・小部屋 (グループごとでグループタイムが行える部屋。ワーキングルーム)
- ※「お言葉カルタ」はテーブルの上で行うより、畳の上に直接広げて行う方が、全体が見えて集中して取り組める。

◎所要時間 : 1 時間 30 分

◎全体の流れ

- ① 導入 (30分)
- ② お言葉カルタ (45分)
- ③ 感想を述べ合う (15分)

◎留意点

- ・カルタのお言葉は、『稿本天理教教祖伝』、『稿本天理教教祖伝逸話篇』から教祖のお言葉を抜粋している。メンバーから質問されることもあるので、読み札に書かれてあるお言葉について事前に目を通しておくとよい。ガイドブック P.8~10 参照。
- ・グループタイム②で使用するため、「わ」の札は読まない。

◎進め方

① 導入 (30分)

- ◇「お言葉カルタ」の導入として、「自己紹介シート」を使って簡単な自己紹介を行う。

- ・「自己紹介シート」を全員に配付し、記入してもらおう。(5分)
- ・「自己紹介シート」を一人ずつ発表していく。(一人1~2分程度)
 - ※あくまでも、次の「お言葉カルタ」の導入なので、軽く流す程度で構わない。
 - ※トレーナーが最初に発表すると、話す時間や内容が他のメンバーのモデルになる。
 - ※自己紹介後「ネームコール」などのゲームを取り入れると効果的。

② お言葉カルタ (45分)

- ◇「取り札」を、質問の書いてある面を裏にし、ランダムに広げて配置する。
 - ※トレーナーは「読み札」を手元に持っておく。
- ◇グループ全体が「取り札」を囲み、輪になるように座る。
 - ※トレーナーも輪の中に入る。
- ◇全体の流れとルールを説明する。(5分)
 - ※「秘密保持」(『HARP』本P.43~44参照)について伝える。
- ◇トレーナーが手元の「読み札」を読み上げる。
 - ※質問項目は「現在」(現在に関する質問)、「過去」(過去に関する質問)、「未来」(未来に関する質問)、「アクション」(動作を伴うもの)の4種類に分類されている。トレーナーはあらかじめ質問内容を確認しておくとともに、「読み札」を種類別に仕分けておくと使いやすい。
 - ※開始して10分くらいは「現在」の質問が出るように配慮する。「三面鏡」(『HARP』本P.165~167参照)のように、はじめは「現在」から入り、次いで「過去」、そして「未来」へと進んでいくとメンバーは話しやすい。
 - ※「アクション」はメンバーの様子をみて、飽きてきたり、動きがほしい時に読むとよい。
- ◇メンバーはトレーナーが読み上げたものと同じ「取り札」を「ハイ!」と言って取る。
- ◇取った人は、「取り札」のお言葉を一度読んでから裏返し、質問と誰がそれを行うかを読み上げる。
- ◇指名された人は、その内容に従う。
 - ※トレーナーも同様に指名されれば、その内容に従う。
 - ※話したくないことを無理強いしないようにする。場合によっては、ある程度の間を取ったり、質問の表現を変えるなどの工夫をするとよい。
- ◇各自が取った「取り札」の枚数を確認し、発表する。
 - ※多く取った人への簡単なごほうびを考えておいてもよい。

③ 感想を述べ合う (15分)

- ◇「取り札」を場に戻す。
- ◇カルタのお言葉は、教祖のお言葉であるということを伝え、心にとまったものや気にな

CHAPTER-2 グループタイムの進め方

ったもの、もう少し詳しく聞いてみたいものなどを1つ選び、その理由を述べる。

※あくまでも自己紹介の延長として、堅くない雰囲気で行うのがよい。

※カルタは取らずに心の中で選ぶ。

自己紹介シート

わたしは、 _____ が好きな

_____ です。

_____ と呼んでください。

_____ に住んでいます。

昨日は _____ : _____ に寝て、

今日は _____ : _____ に起きました。

朝ごはんは _____ を食べました。

今回、まなびばに参加した理由は

_____ です。

今の気持ちは _____ です。

どうぞよろしくお願いします。

お言葉カルタ出典一覧

- あ 「朝起き・正直・働き」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 192 「111. 朝、起こされるのと」
- い 「一粒万倍にして返す」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 3 「4. 一粒万倍にして返す」
- う 「上から道をつけては、下の者が寄りつけるか」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 46 「28. 道は下から」
- え 「えらい遠廻わりをしておいでたんやなあ」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 10 「10. えらい遠廻わりをして」
- お 「おちばは、泣く所やないで。ここは喜ぶ所や」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 180 「105. ここは喜ぶ所」
- か 「身体を苦しめて通るのやないで」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 112 「64. やんわり伸ばしたら」
- き 「金銭は二の切りや」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 292 「178. 身上がもとや」
- く 「癖、性分を取りなされや」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 208 「123. 人がめどか」
- け 「結構と思うてすれば、天に届く理、神様受け取り下さる理は、結構に変えて下さる」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 238 「144. 天に届く理」
- こ 「言葉一つが肝心」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 228 「137. 言葉一つ」
- さ 「定めた心を受け取るで」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 58 「36. 定めた心」
- し 「信心はな、神さんを、産んでくれた親と同んなじように思いなはれや」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 177 「104. 信心はな」
- す 「すたりもの身につくで。いやしいのと違う」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 192 「112. 一に愛想」

- せ 「世界は、この葡萄のようになあ、皆、丸い心で、つながり合うて行くのやで」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 226 「135. 皆丸い心で」
- そ 「そっちで力を入れたら、神も力を入れるのやで」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 288 「174. そっちで力をゆるめたら」
- た 「高う買うて、安う売るのやで」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 272 「165. 高う買うて」
- ち 「小さな埃は、目につかんよってに、放って置くやろ」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 219 「130. 小さな埃は」
- つ 「つとめに、手がぐにやぐにやするのは、心がぐにやぐにやして居るからや」
稿本天理教教祖伝 P. 95
- て 「天の定規にあてたら、皆、狂いがありますのやで」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 49 「31. 天の定規」
- と 「どんな病も皆御守護頂けるのやで」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 169 「100. 人を救けるのやで」
- な 「菜の葉一枚でも、粗末にせぬように」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 192 「112. 一に愛想」
- に 「人間の義理を病んで神の道を潰すは、道であらうまい」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 129 「74. 神の理を立てる」
- の 「登る道は幾筋もありますで」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 186 「108. 登る道は幾筋も」
- は 「はたはたの者を楽にするから、はたらくと言うのや」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 318 「197. 働く手は」
- ひ 「人を救けたら我が身が救かるのや」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 71 「42. 人を救けたら」
- ふ 「ふしから芽が出る」
稿本天理教教祖伝 P. 142

- ほ 「ほしい人にもろてもろたら、もっと結構やないか」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 66 「39. もっと結構」
- ま 「まあまあ、こんな日にも人が来る。なんと誠の人やなあ」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 75 「44. 雪の日」
- み 「水を飲めば水の味がする」
稿本天理教教祖伝 P. 40
- む 「無理に来いと言わんのや」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 309 「190. この道は」
- め 「目に見える徳ほしいか、目に見えん徳ほしいか」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 111 「63. 目に見えん徳」
- も 「物は大切にしなされや。生かして使いなされや」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 230 「138. 物は大切に」
- や 「やさしい心になりなされや」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 208 「123. 人がめどか」
- ゆ 「ゆうべは、御苦労やったなあ」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 96 「56. ゆうべは御苦労やった」
- よ 「ようこそ帰って来たなあ」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 75 「44. 雪の日」
- り 「理を振るのや」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 25 「18. 理の歌」
- ろ 「廊下の下を人が行き来するようになるのやで」
稿本天理教教祖伝逸話篇 P. 107 「61. 廊下の下を」
- わ 「我は元の神・実の神である」
稿本天理教教祖伝 P. 1

2. 「GO! GO! 地球防衛軍！」（グループタイム②）

◎ねらい

- ・課題に取り組むことで、グループの凝集性を高め、協調性を育む。
- ・一人ひとりの個性を引き出し、その大切さについて学ぶ。

◎準備物

※付録『GROUP - TIME:2 PERFECT - GUIDE』P.1 参照

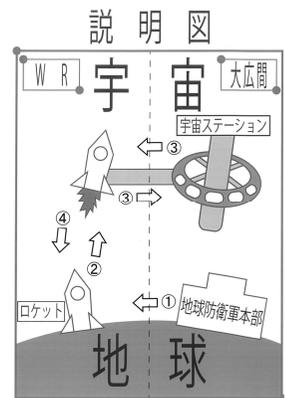
◎会場

- ・広間
- ・小部屋（グループごとでグループタイムが行える部屋。ワーキングルーム）

◎所要時間：1時間45分

◎全体の流れ

- ① 導入 … 広間（15分） 地球
 - ② mission：1 … 小部屋 ロケット（地球→宇宙）
 - ③ mission：2 … 広間 宇宙ステーション
 - ④ mission：3 … 小部屋 ロケット（宇宙→地球）
 - ⑤ ふりかえり … 小部屋（20分）
- } (70分)



◎留意点

- ・このグループタイムでは、制限時間をイメージするために効果音（時計の秒針の音など）を流してもよい。
 - ※TSA website でダウンロード可能。
- ・メンバーに残り時間を適時伝えることでゲーム性が増す。
- ・mission：2のみ、サブトレーナーはメンバーと共に課題に取り組み、楽しむ。

◎進め方

① 導入（15分）

- ◇トレーナーはグループタイム②が始まる前に mission：1 の準備をする。
 - ※課題の内容がメンバーに見られないように細心の注意をはらう。
 - ※進め方②の a～h 参照。
- ◇大広間にて全体司会より台本をもとに導入を行う。（付録P.2 参照）

② mission : 1 (30分)

◇グループごとに部屋に隠された暗号とヒントをもとに、8つの課題に取り組み、全ての答えを「一手一つエネルギーチャージシート」に書き込む。

※課題に積極的に取り組めていないメンバーがいたらフォローする。

※8つの課題が同時進行で進められるので、必ずメンバー全員で確認してから「一手一つエネルギーチャージシート」に答えを書き込む。

※mission : 1 開始後、しばらくしてから効果音（時計の秒針の音など）を流すとゲーム性が増す。

※部屋内に触ってはいけない場所がある場合は、予め伝えておく。

【課題説明】付録 P. 4～20

・ a : 「四字熟語パズル」 (答 : 10)

準備 : ダンボールに漢字を一文字ずつ書いて、24個のカードを作る。

計算式の書かれた用紙と24個のカードを部屋に隠す。

実施 : ①24個のカードを探し出し、組み合わせて四字熟語を6個作る。

②各四字熟語の先頭の文字（数字）を計算式の書かれた用紙の上の図と合わせる。

③アルファベットの上にある漢数字を計算式に当てはめて答えを導き出す。

・ b : 「キーボードクイズ」 (答 : テンタイカンソク)

準備 : アルファベットが書かれた紙と、キーボードが書かれた紙（本物のキーボードがあれば代用してもよい）を部屋に隠す。

実施 : ①アルファベットが書かれた紙とキーボードが書かれた紙を探し出し、アルファベットの順にそのキーボードのかなを読むと答えが出る。

・ c : 「迷路クイズ」 (答 : スイセイ)

準備 : 迷路が書かれた用紙を隠す。

実施 : ①迷路が書かれた用紙を探し出し迷路を解くと、

「たいようからいちばんちかいほしは」と問われる。

・ d : 「折り紙パズル」 (答 : スペース)

準備 : 文字の破片が書かれた紙を枠に添って切り「あ」と「い」の2枚を用意する。

「あ」と「い」の2枚の紙と、手裏剣の折り方が書かれた紙を部屋に隠す。

実施 : ①「あ」と「い」の2枚の紙と、手裏剣の折り方が書かれた紙を探し出し、折り方に従って手裏剣を作ると、答えが出てくる。

・ e : 「漢字パズル」 (答 : サクセン)

準備 : 養生テープに記号と漢字を書いて8つの暗号を作る。

8つの暗号と記号が書かれた用紙を部屋に隠す。

実施 : ①8つの暗号と記号が書かれた用紙を探し出し、記号通りに漢字を並べ、真ん中の四角に当てはまる漢字を導き出す。

・ f : 「帯パズル」 (答 : ショウワクセイ)

準備 : 付録 P. 15 の紙を線に添って切り取る。

切り取った紙と付録 P. 16 を部屋に隠す。

実施 : ①2枚の紙を探し出し、重ね合わせると文字が出来る。

・ g : 「図形パズル」 (答 : ロケット)

準備 : 漢字が書かれた図形を線に添って切る。

切った図形と台紙を部屋に隠す。

実施 : ①切った図形と台紙を探し出し、台紙に描かれた通りに図形を並べ、漢字の矢印で指された箇所 (カタカナ) だけ読む。

・ h : 「手袋クイズ」 (答 : トラブル)

準備 : ヒントが書かれた紙とカタカナが書かれたビニール手袋 (軍手や付録の紙で代用してもよい) を部屋に隠す。

実施 : ①ヒントが書かれた紙とビニール手袋を探し出し、ヒント通りに手できつね (親指・中指・薬指をくっつける) をして、耳 (残りの指) にある字を読むと答えになる。

◇8つの課題をクリアし、「一手一つエネルギーチャージシート」が完成すると「10回スクワット」という答えが出るのでメンバー全員で実施する。この時にチャージ完了用紙 (付録 P. 21) を出して盛り上げる。

◇宇宙しりとり (宇宙にまつわる言葉限定) を一周したら宇宙についてのことにする。

◇無事に宇宙にたどり着いたと伝え、全員で広間に移動する。

③ mission : 2 (30分)

◇各グループが mission : 1 を実施している間に、広間で mission : 2 の準備をする。

◇課題が全部で6つあるので、課題ごとに貼り紙を設置する。(付録 P. 22~27)

◇mission : 1 をクリアしたグループから全体司会より説明を受ける。(付録 P. 3 参照)

※説明の後、「mission : 2 ミサイルを発射せよ」(付録 P. 28) を全体司会からトレーナーに渡す。

◇グループごとに課題に取り組む。

◇クリアできない場合は別の課題に移り、すべての課題がクリアできるまで行う。

※メンバーで協力して課題に取り組むことが目的なので、各課題のクリア条件はその時に応じて時間内に達成できるように導く。

【課題説明】 付録 P. 28～30 を参照。

・1: 「ハイポーズ」

準備: トレーナーは予めお題を考えておく。

実施: ①トレーナーの「ハイポーズ!」の合図で、出されたお題に対して思いつくポーズを全員で行う。

②メンバー数の3分の2以上が同じポーズをしたらクリア。

例: ・泳ぎ方といえば?

・乗り物といえば?

・お風呂に入って一番最初に泡をつける場所は?

・2: 「キャップでカーリング」

準備: 的 (付録 P. 29) とペットボトルのキャップ (2 個) を用意する。

実施: ①メンバー全員で順番に的を目掛けて一人2回ペットボトルのキャップを指で弾く。

②メンバー数×3点以上でクリア。

・3: 「着陸! 紙ヒコーキ」

準備: 折り紙と的 (付録 P. 30) とダンボールを用意する。

実施: ①折り紙で一人1機の紙飛行機を作る。

②離れたところからの的を貼ったダンボール目掛けて紙飛行機を投げる。

③メンバー数の半分以上でクリア。

・4: 「さかさま伝言」

準備: トレーナーは予めお題を考えておく。(6文字→5文字→4文字)

実施: ①メンバー全員で一列になり、トレーナーが考えたお題をさかさまに読んで一人10秒以内で順番に伝えていく。

②最後の人が正解できたらクリア。

例: ・いせうこうこ (高校生)

・いさかんぶ (文化祭)

・ばびなま (まなびば)

・5:「せーのでキャッチ」

準備: ペットボトルのキャップをグループの人数分用意する。

実施: ①メンバー全員で輪になり、トレーナーの「せーの!」の合図で隣以外の
人に投げる。

②全員がキャッチできたらクリア。

・6:「輪っかくぐり」

準備: 準備した紐で輪を作る。

実施: ①メンバー全員が円になって手を繋ぐ。

②腕に通した輪を1周させる。

③メンバー数×6秒以内でクリア。

※その他、教区オリジナルの課題を作成していただいてもよい。

◇すべての課題をクリアしたら隕石用紙(付録P.31)を破り、隕石が破壊されたことを伝える。

④ mission : 3 (10分)

◇全体司会より説明。(付録P.3)

◇全体司会から課題(お言葉カルタの中に付録P.32を折って入れる)を受け取り、小部屋(ワーキングルーム)に戻る。

◇グループごとに課題に取り組む。

※ヒントシートの答えは、お言葉カルタに書かれてあるページから導き出される。

◇課題をクリアし、「ヒントシート」が完成すると「わのふだにしたがえ」という答えが出るので、メンバー全員で「わ」の札のアクションを実施する。

◇トレーナーは地球到着用紙(付録P.33)を見せ、地球に到着したことを伝える。

⑤ ふりかえり (20分)

◇グループごとに感想を述べ合う。

※mission : 1で解いた暗号を見ながらすると効果的。

◇誰のどういうところがよかったかなどを聞く。

※その際、一人ひとりにスポットが当たるように心がける。

3. 「あしあと」 (グループタイム③)

◎ねらい

- ・メンバーの発言に耳を傾け、多様な価値観が存在することを知る。
- ・どんな中でも喜んで通られた教祖の御心に触れ、自分の中で喜べなかったことも喜べるということに気づく。

◎準備物

- ・もも色の記入カード (直径 6cm くらいの丸い紙) (3 枚×人数分)
- ・水色の記入カード (直径 6cm くらいの丸い紙) (2 枚×人数分)
- ・筆記用具 (各自)
- ・模造紙 (グループ数分) ガイドブック P. 20 参照
- ・ふりかえりシート (人数分) ガイドブック P. 19

◎会場

- ・小部屋 (グループごとでグループタイムが行える部屋。ワーキングルーム)
- ・広間 (全体で集まれる部屋、「おはなし」で使用)

◎所要時間 : 2 時間 40 分

◎全体の流れ

- ① アイスブレイク (10 分)
- ② もも色のカード記入 (5 分)
- ③ もも色のカード発表 (35 分)
- ④ 水色のカード記入 (5 分)
- ⑤ 水色のカード発表 (45 分)
移動
- ⑥ おはなし (20 分)
移動
- ⑦ ふりかえり (40 分)

◎留意点

- ・模造紙にガイドブック P. 20 の道の絵 (参考例) を描いておくと発表しやすい雰囲気になる。

◎進め方

① アイスブレイク (10分)

◇ストレッチ、マッサージ、ゲームなどを行う。

② もも色のカード記入 (5分)

◇最近嬉しかったこと、喜んだことなど（何気ないことでいいので）を思いつくままに3つ、3枚のカードに記入する。

◇最近のことが思い浮かばなかった場合は、いつのことでもよい。

◇「友達と仲直りできた」「自動販売機でジュースを買ったら、もう1本ついてきた」など簡単な例を挙げると記入しやすい。

◇あとで発表することを伝える。

③ もも色のカード発表 (35分)

◇メンバーのモデルとなるので、発表は必ずトレーナーから行う。

◇メンバーの真ん中に模造紙を広げ、もも色のカードの内容を発表しながら模造紙の上に乗せる。3枚発表したら、その中でも特に話したいことを話す。

◇メンバー全員の発表が終わったら、他にも詳しく聞いてみたいと思ったことについて自由に話し合う。

④ 水色のカード記入 (5分)

◇もも色のカード記入と同じ要領で、今までで喜ばなかったこと、大変だったこと、悲しかったことなどを思いつくままに2つ、2枚のカードに記入する。

※どうしても書けないメンバーには「何気ないことでもいい」ということを伝える。

⑤ 水色のカード発表 (45分)

◇もも色のカード発表と同じ要領で、水色のカードの内容を発表しながらもも色のカードが置いてある模造紙の上に乗せる。2枚発表したら、その中でも特に話したいことを話す。

◇メンバー全員の発表が終わったら、他にも詳しく聞いてみたいと思ったことについて自由に話し合う。

◇この時間の最後に、いろんな話をしてくれたメンバーへお礼の言葉を添えて、この後のおはなしにつなげる。なお、カードと模造紙はそのままにしておく。

～コメント例～

「たくさん話してくれてありがとう。日々の生活の中には楽しいことや喜ばないこと、いろんな出来事がありますね。みなさんは、天理教の教えを伝えて下さった教祖 中山みき様を知っていますか？これから教祖のおはなしを聞かせていただきます。」

⑥ おはなし (20分)

◇『おやさま ～いつも心に喜びを！～』

※どんな中でも喜んで通られた教祖のひながたについてふれてください。

⑦ ふりかえり (40分)

◇「ふりかえりシート」①、②の項目に記入する。

◇項目ごとに発表する。

◇「ふりかえりシート」③の項目に記入する。

◇③の項目を発表する。

～コメント例～

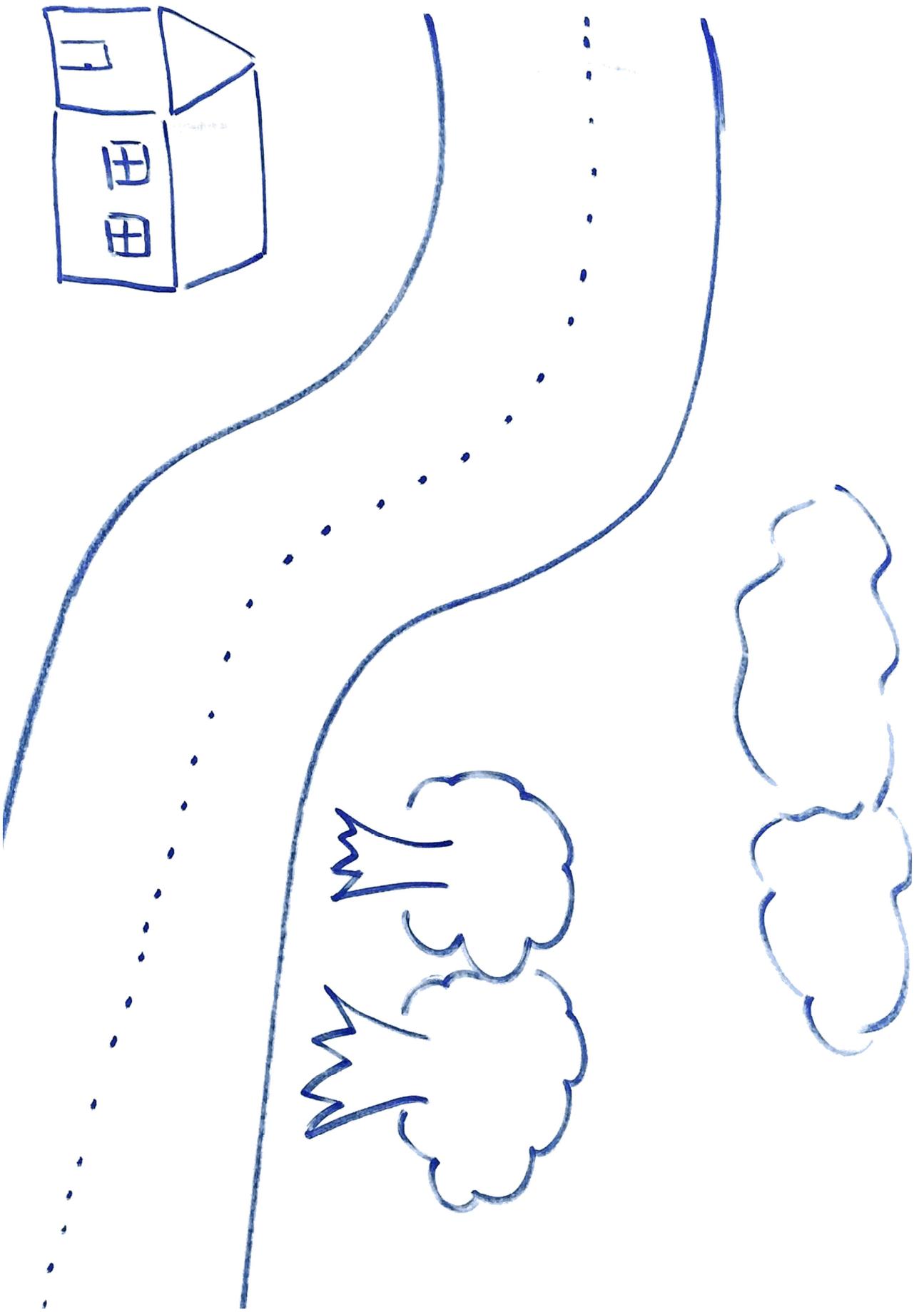
「この時間を通して、これまで歩んできたいろんな道をみんなで話し合いました。みんなが出してくれたカードは足跡の様にも見えますね。これから先、行き詰まったり悩んだりしたときには、どんな中でも喜んで通られた教祖の道が一步前へ進む大きな手助けになると思います。毎日の生活の中でも、喜びを胸に通らせてもらいたいですね。」

ふりかえり

① 自分の経験を発表して、またメンバーの発表を聞いてどうでしたか？

② おはなしを聞いてどのように感じましたか？

③ 改めて自分が書いた水色のカードを見てどう思いますか？



4. 「コトノハ」(グループタイム④)

◎ねらい

- ・教祖のお言葉と寄せ書きが目に見えるお土産となり、後々の気づき、学びにつなげるきっかけをつくる。
- ・「まなびば」で出会った仲間に思いを寄せることで、人に対する思いやりの気持ちを養う。

◎準備物

- ・「コトノハ」シート (人数分) ガイドブック P. 23
- ・お言葉カルタ (各グループ1セット)
- ・色ペン (各グループ1セット)
- ・筆記具 (各自)
- ・封筒 (人数分)

◎会場

- ・小部屋 (グループごとでグループタイムが行える部屋。ワーキングルーム)

◎所要時間 : 1 時間 10 分

◎全体の流れ

- ① 2 日間を振り返る (5 分)
- ② お言葉カルタを選んで記入 (5 分)
- ③ 発表 (15 分)
- ④ メッセージ記入 (30 分)
- ⑤ 感想を述べ合う (10 分)
- ⑥ 言葉によるクロージング (5 分)

◎進め方

① 2 日間を振り返る (5 分)

～コメント例～

「目を閉じてください。最後のグループタイムになりました。昨日のウォーミングアップ、開講式に始まり、「お言葉カルタ」では「…」でした。「GO! GO! 地球防衛軍!」では「…」でした。そして、今日の「あしあと」では「…」でした。続いて、先生のおはなしと一緒に聞かせてもらいました。改めて振り返ってみると、いろいろな事を見聞きし、体験して、学び、感じたのではないのでしょうか。また一緒に過ごしたメンバーはどんな表情で、どんな言葉を掛けてくれましたか。ちょっと思い出してみてください…。それでは目を開けてください。」

② お言葉カルタを選んで記入 (5分)

- ◇お言葉カルタをメンバーに見えるように広げる。
- ◇「コトノハ」シートを配る。
- ◇心に残ったお言葉を1つ選びシートに記入。
※カルタは取らずに心の中で選ぶ。

③ 発表 (15分)

- ◇選んだお言葉とその理由を発表する。

④ メッセージ記入 (30分)

- ◇シートを隣の人に渡す。全員がメッセージを書き終わったら一斉に隣の人に渡す。
※選んだお言葉に対してではなく、メンバーに対してのメッセージを書く。

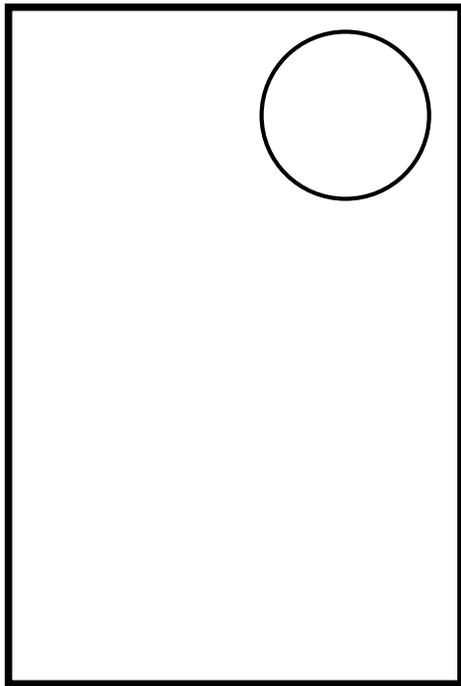
⑤ 感想を述べ合う (10分)

- ◇シートを読んだ感想を述べ合う。
- ◇まなびばでの2日間の感想を述べ合う。
- ◇全員の発表が終わったら、それぞれが「コトノハ」シートを封筒に入れて持ち帰る。

⑥ 言葉によるクロージング (5分)

- ◇トレーナーからクロージングの一言。
～コメント例～

「このまなびばで何度も教祖のお言葉にふれていただきました。これから、いろいろなことを経験していく中で、喜ばないこともたくさんあると思いますが、そんな時こそ教祖のお言葉を思い出して、いつも心に喜びを持って通ってくださいね。」



なまえ.....

memo

H. 28. 3. 25 200 部